

学長裁量経費（教育改革支援プロジェクト）研究成果報告書

平成 24 年 3 月 31 日現在

プロジェクト名	標準教職能力テストの開発		
プロジェクト期間	平成 22 年度～平成 23 年度		
申請代表者 (所属講座等)	大坪靖直 (教育心理学講座)	共同研究者 (所属講座等)	松尾剛 (教育心理学講座) 堺正之 (学校教育講座) 川口俊明 (学校教育講座)
取組方法および 取組実績の概要	<p>平成 22 年度は、教員採用試験で頻繁に出題される教育心理学に関する約 160 個のキーワードを抽出し、項目反応理論に基づいた模擬試験プログラムを作成した。</p> <p>平成 23 年度は、取り上げる問題領域を教職に関する問題にまで拡張し、約 500 問からなる教員採用試験模擬プログラム (STAT) を作成した。</p>		
研究成果の概要	<p>作成した模擬試験プログラム (Java 言語) は、5 月より就職支援室にて希望者全員に USB メモリーで配布を開始した (最大 900 人)。</p> <p>本模擬試験プログラムは項目反応理論に基づいているので、利用者は現在の能力水準に最適化された問題に解答し、異なる問題に解答したとしても絶対基準の能力スコアの推定値が算出される。したがって、教員採用試験の勉強が進めば進むほど、より高い能力スコアの推定値になっていることを確認することで、試験勉強への動機づけを促すことが期待される。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法について			
外部資金獲得 申請 (予定)		研究成果の 公表方法 (予定)	学内へ配布予定